学校番号	3010

令和5年度 保健体育 科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1 単位	年次	2 年次
使用教科書	「現代高等保健体育改訂版」（大修館書店）						
副教材等	「現代高等保健体育ノート」（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

健康・安全について理解しよう。
・健康的な生活行動について学ぶ。
・日常生活で直面するであろう健康課題を知り、その解決方法を考える。
・健康や安全についての社会的な取組や個人での対応について知る。

履修条件

なし

2　学習の到達目標

健康的な生活行動とはどのようなことか理解できるようになる。
・身近な健康問題に興味をもち、その解決方法について考えることができるようになる。
・健康や安全に対する社会的な取組みを知り、個人的な対応と関連づけて実践できるようになる。
・心と体を一体としてとらえ、健康・安全について総合的に理解する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題の解決に役立ち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な知識や理解を身に付ける。	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題についての解決をめざして、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、表現することを身に付ける。	健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることに関心を持ち、個人生活及び社会生活における健康・安全課題について、意欲的に学習に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th rowspan="2">単元（題材）の評価規準</th><th colspan="3">評価方法</th></tr>
<tr><th>知(a)</th><th>思(b)</th><th>主(c)</th></tr>
<tr><td rowspan="3">1</td><td rowspan="3">生涯を通じる健康</td><td>〇ライフステージと健康
〇思春期と健康
〇性意識と性行動の選択</td><td>a: ライフステージに応じた健康について考え、基礎的な事項を基に、自己の健康管理と生活の質を高められる健康観を持つことができる。
b:性差による意識・行動の違いについて理解し、自身の考えや社会の課題を見つけて整理し、説明することができる。
c: 思春期の心と体の変化について意識し、責任ある行動や異性に対して思いやりのある態度を養い、良好な人間関係を保とうとする意識、姿勢がある。</td><td rowspan="3">定期考査</td><td rowspan="3">課題学習の成果物等
ブレインストーミング
定期考査</td><td rowspan="3">授業態度
課題学習の成果物等</td></tr>
<tr><td>〇妊娠・出産と健康
〇避妊法と人工妊娠中絶
〇結婚生活と健康</td><td>a: 老化による心身の変化や健康問題を理解し、健やかな中高年を過ごすための工夫や考えを持つことができる。
b:加齢にともなう心身の変化について理解を深めることができ、高齢者の健康づくりについて考える。
c: ライフステージに応じた健康について考え、基礎的な事項を理解し、自己の健康管理と生活の質を高められる健康観や社会の課題を若い世代から考えることができる。</td></tr>
<tr><td>〇中高年期と健康
〇働くことと健康
〇労働災害と健康
〇健康的な職業生活</td><td>a: 老化による心身の変化や健康問題を理解し、健やかな中高年を過ごすための工夫や考えを持つことができる。
b:加齢にともなう心身の変化について理解を深めることができ、高齢者の健康づくりについて考える。
c: ライフステージに応じた健康について考え、基礎的な事項を理解し、自己の健康管理と生活の質を高められる健康観や社会の課題を若い世代から考えることができる。</td></tr>
</table>

2	生涯を通じる健康	○大気汚染と健康 ○水質汚濁・土壌汚染と健康 ○環境と健康にかかわる対策 ○ごみの処理と上下水道の整備	a: 健康の保持増進に理解し、国の内外における保健活動や医療制度について記述、説明することができる。自身だけでなく、世界の人々の健康について考えることができる。 b:健康を保持増進するために必要な制度や活動を理解し、課題を見つけたり、説明したりすることができる。 c: 健康な生活を送る上で必要な医療制度や保健活動について理解や関心がある。	定期考査	課題学習の成果物等 ブレインストーミング 定期考査	授業態度 課題学習の成果物等
		○保健サービスとその活用 ○医療サービスとその活用 ○医薬品の制度とその活用	a: 環境汚染の基礎的な事項を理解し、社会全体の健康づくりの対策について理解し、説明・記述することができる。 b:環境汚染が健康に及ぼす影響について学んだことを自身の生活と比較・分析することができる。 c: 環境汚染の原因や健康被害を防ぐための対策を理解し、自分自身の行動の中に具体的に意識して取り組もうとしている。			
		○食品の安全性 ○食品衛生にかかわる活動	a: 食品の安全性を理解し、社会的な取り組みや必要性を説明することができる。 b: 食の安全をめぐる課題を理解し、自身の生活を分析し、改善していく。 c: 日常における「食の安全」に関心をもち、健康被害について考え、取り組もうとしている。			
3	健康を支える環境づくり	○保健サービスとその活用 ○医療サービスとその活用 ○医薬品の制度とその活用 さまざまな保健活動や社会的対策 ○健康に関する環境づくりと社会参加	a: 労働災害の健康被害を理解し、個人だけでなくはなく、社会全体の対策も考え、具体例を挙げるなどの説明及び記述ができる。 b:労働災害を身近な問題と捉え、その対策について自身の考えや課題解決策を導き出すことができる。 c: 働くことの意義を理解するとともに、それにともなう健康被害や健康管理について意識をもって学ぶ。	定期考査	課題学習の成果物等 ブレインストーミング 定期考査	授業態度 課題学習の成果物等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度